

ニッセイ インターネットアンケート ～「春の新生活スタート」について～

日本生命保険相互会社（社長：清水博）は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ（<https://www.nissay.co.jp>）内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「春の新生活スタート」に関するアンケート調査を実施しました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2022年2月1日（火）～2月15日（火）
- 実施方法：インターネットアンケート（「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー）
- 回答者数：10,538名（男性：5,204名、女性：5,147名、性別回答なし：187名）

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	268	633	1,061	1,736	1,085	421	5,204
女性	397	794	1,089	1,604	892	371	5,147
合計	673	1,437	2,183	3,394	2,028	823	10,538
占率	6.4%	13.6%	20.7%	32.2%	19.2%	7.8%	100.0%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～3

【この春の送別会や歓迎会の予定について】

- 全体で約5割の方が、職場などでの送別会や歓迎会に「参加したくない」と回答した。
- 送別会や歓迎会の予定について、全体で約7割の方が「ない」と回答した。
- 送別会や歓迎会の予定が「ある」と回答した方のうち、約6割の方が開催予定は「1回」だった。

ポイント②

質問 4～8

【年金制度改正法について】

- 2022年4月の年金制度改正法施行について、全体で約7割の方が「知らない」と回答した。
- 2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大する中で、全体で5割以上の方が「65歳」から年金を受け取りたいと回答した。

ポイント③

質問 9～10

【成年年齢引き下げについて】

- 2022年4月からの成年年齢引き下げについて、全体で約8割の方が「知っている」と回答した。
- 新たに成人となる方に期待することとしては、「成人として自覚を持った行動」が38.0%と割合が最も高かった。

- 質問 1 この春に職場などで送別会や歓迎会などがあれば参加したいですか？
(回答者数：10,538名)
- 質問 2 この春に職場などで送別会や歓迎会などの予定はありますか？
またはあると思いますか？
(回答者数：10,538名)
- 質問 3 <質問 2 で「ある」と回答した方への質問> 何回開催予定ですか？
(回答者数：298名)

○全体で約 5 割の方が、職場などでの送別会や歓迎会に「参加したくない」と回答した。
○送別会や歓迎会の予定について、全体で約 7 割の方が「ない」と回答した。
○送別会や歓迎会の予定が「ある」と回答した方のうち、約 6 割の方が開催予定は「1 回」だった。

■この春に職場などで送別会や歓迎会などがあれば参加したいか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
参加したい	17.7	24.4	20.7	19.5	18.2	14.1	8.7
参加したくない	48.5	44.0	53.1	49.7	48.9	46.1	45.4
わからない	33.8	31.6	26.2	30.8	32.9	39.8	45.8

全体で約 5 割の方が「参加したくない」と回答した。

■この春に職場などで送別会や歓迎会などの予定はあるか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
ある	2.9	5.9	3.2	3.8	2.5	2.1	1.5
ない	71.2	64.0	69.8	72.0	73.3	72.6	65.4
わからない	25.9	30.0	27.0	24.2	24.2	25.3	33.2

全体で約 7 割の方が開催予定は「ない」と回答した。

■何回開催予定か

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
1回	57.0	59.0	69.6	55.1	53.6	47.5	72.7
2回	22.1	20.5	13.0	20.5	26.2	32.5	9.1
3回	11.4	7.7	10.9	11.5	13.1	12.5	9.1
4回	2.0	2.6	4.3	1.3	2.4	0.0	0.0
5回以上	7.4	10.3	2.2	11.5	4.8	7.5	9.1

送別会や歓迎会などの予定がある方のうち、約 6 割の方が開催予定は「1 回」と回答した。

<ニッセイ基礎研究所 主任研究員 井上 智紀のコメント>



今春の歓送迎会の予定がある方の割合は3%に満たない結果となりました。歓送迎会への参加希望もほとんどの年代で「参加したくない」が最も多く、歓迎される側を多く含む若年層でも「参加したい」は2割台に留まっています。

「参加したくない」とする回答が30代で半数を超えて最も高くなっていることは、乳幼児や小学生など、基本的な感染対策を取らせることが困難であったり、ワクチンの接種可能年齢に達していない年代の子どもがいる家庭を中心に、オミクロン株の特性とされる感染力や無症状のうちに感染源になるリスクの高さを敬遠する行動につながっているためとも考えられそうです。

質問4 2022年4月から、年金制度改正法が施行されることをご存知ですか？ (回答者数：10,538名)

質問5 2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大することをご存知ですか？

(回答者数：10,538名)

質問6 <質問5で「知っている」と回答した方への質問> 年金受給開始時期の選択肢が拡大しますが何歳から受け取りたいですか？ (回答者数：3,183名)

質問7 2022年4月から、在職老齢年金制度の仕組みが見直されることをご存知ですか？

(回答者数：10,538名)

質問8 2022年4月から、確定拠出年金における加入要件が見直されることをご存知ですか？

(回答者数：10,538名)

○2022年4月の年金制度改正法施行について、全体で約7割の方が「知らない」と回答した。
 ○2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大することを「知らない」と回答した方の割合は全体で約7割だった。
 ○2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大する中で、全体で5割以上の方が「65歳」から年金を受け取りたいと回答した。
 ○2022年4月から、在職老齢年金制度の仕組みが見直されることについては、全体では約8割の方が「知らない」と回答したが、60代では約3割の方が「知っている」と回答した。
 ○2022年4月から、確定拠出年金における加入要件が見直されることについては全体で約8割の方が「知らない」と回答し、特に20代以下では約9割の方が「知らない」と回答した。

■2022年4月から、年金制度改正法が施行されることを知っているか (%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
知っている	30.8	22.6	23.0	23.3	30.8	44.6	36.5
知らない	69.2	77.4	77.0	76.7	69.2	55.4	63.5

全体で約7割の方が「知らない」と回答し、60代では44.6%の方が「知っている」と回答した。

■2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大することを知っているか (%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
知っている	34.0	22.4	26.6	26.4	36.5	47.7	33.2
知らない	66.0	77.6	73.4	73.6	63.5	52.3	66.8

質問4と同様に全体で約7割の方が「知らない」と回答し、60代では47.7%の方が「知っている」と回答した。

■2022年4月から、年金受給開始時期の選択肢が拡大しますが何歳から受け取りたいか

(%)

	全体					
	~20代	30代	40代	50代	60代	
60歳	14.3	26.9	24.4	20.0	11.3	8.7
61歳~64歳	3.7	4.1	1.3	1.2	3.6	6.2
65歳	55.6	39.3	50.4	50.6	58.2	60.2
66歳~69歳	6.3	2.1	3.8	4.5	6.7	8.6
70歳	16.9	19.3	18.2	20.5	16.8	13.8
71歳~74歳	0.6	1.4	0.0	0.5	0.6	0.9
75歳	2.5	6.9	1.9	2.7	2.9	1.5

全体で5割以上の方が「65歳」と回答した。

■2022年4月から、在職老齢年金制度の仕組みが見直されることを知っているか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
知っている	16.4	10.8	10.6	10.6	16.0	28.9	17.5
知らない	83.6	89.2	89.4	89.4	84.0	71.1	82.5

全体で約8割の方が「知らない」と回答し、60代では「知っている」と回答した方の割合は約3割だった。

■2022年4月から、確定拠出年金における加入要件が見直されることを知っているか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
知っている	15.6	11.7	16.1	13.6	16.4	18.2	13.6
知らない	84.4	88.3	83.9	86.4	83.6	81.8	86.4

全体で約8割の方が「知らない」と回答し、特に20代以下では約9割の方が「知らない」と回答した。

<ニッセイ基礎研究所 主任研究員 ^{いのうえ}井上 ^{ともき}智紀のコメント>



今回の制度改革では、高齢者雇用安定法の改正と平仄を合わせることで今後さらに増加が見込まれる働き続ける高齢者について、勤労意欲を削がないよう年金受給額の面から支援するほか、現役世代に対しては確定拠出年金制度の加入要件の見直しや短時間労働者への厚生年金の適用拡大を予定するなど、いずれも高齢期の経済基盤の充実を図ることを目指すものとなっています。何歳までどのように働き、年金は何歳から受け取るか、現役期にはどのように老後生活資金を準備していくかといった、高齢期に向けた生活設計を考えていく上では、こうした制度改革の内容についても正しい情報を得て慎重に対応していく必要があるでしょう。

質問 9 2022年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下がることをご存知ですか？

(回答者数：10,538名)

質問 10 2022年4月以降に新しく成人となる方に期待することは何ですか？(複数選択可)

(回答者数：10,538名)

○2022年4月からの成年年齢引き下げについて、全体で約8割の方が「知っている」と回答した。
○新しく成人となる方に期待することとしては、「成人として自覚を持った行動」が38.0%と割合が最も高かった。

■2022年4月から、成年年齢が20歳から18歳に引き下がることを知っているか

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
知っている	73.0	77.6	80.8	84.7	86.0	78.5	82.0
知らない	27.0	22.4	19.2	15.3	14.0	21.5	18.0

全体で約8割の方が「知っている」と回答し、
20代以下は73.0%と「知っている」と回答した割合が最も低かった。

■2022年4月以降に新しく成人となる方に期待することは何か

(%)

	全体						
	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~	
成人として自覚を持った行動	38.6	35.6	36.2	39.2	39.2	38.4	38.0
経済的自立	13.4	12.7	12.9	14.3	13.6	13.0	13.5
政治への参加	10.4	12.3	11.8	11.0	12.7	11.9	11.7
契約トラブルなどへの注意	9.6	10.0	12.0	10.7	11.0	10.5	10.9
積極的な意見・情報発信	8.8	8.7	8.5	8.0	7.9	9.4	8.4
勉学や研究	6.0	8.1	7.4	7.7	7.1	7.4	7.5
新たなビジネスなどの創出	5.9	7.2	6.7	5.3	5.2	3.3	5.7
その他	7.4	5.5	4.4	3.6	3.3	6.2	4.4

「成人として自覚を持った行動」が全体で38.0%と割合が最も高かった。

<ニッセイ基礎研究所 主任研究員 ^{いのうえ}井上 ^{ともき}智紀のコメント>



この4月からの成年年齢の18歳への引き下げの認知率は8割と広く認知されているようです。

成年年齢の引き下げは、公職選挙法や少年法の改正と平仄を合わせるのほか、民法に定める男女の結婚年齢の統一にあわせて実施されるものといわれています。成年（18歳）に達することで、親の同意がなくても自分の意志で様々な契約ができるようになるほか、成人であることが要件となっている国家資格が取得できるようになるなどのメリットがある一方で、社会経験が乏しいまま成年となり契約当事者になる権利を手にするのは、悪質な業者の介在などにより契約にまつわるトラブルを誘発することも懸念されます。こうした消費者トラブルを避けるためにも、消費やお金にまつわる教育や啓蒙活動のさらなる充実が求められていると言えるでしょう。

以上

2021-3352G, 広報部